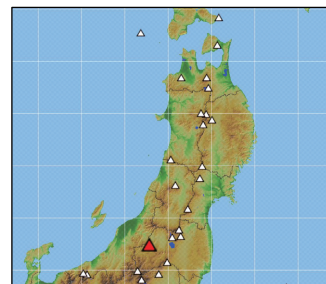


## 37. 沼沢 ぬまざわ Numazawa

北緯 37° 26′ 40″ 東経 139° 33′ 58″ 標高 835m (前山) (三角点)



沼沢全景 南側から 2003年10月 気象庁撮影

### 概要

沼沢は、福島県西部、会津盆地の南西山地にあるデイサイト質の小型のカルデラ火山である。中央には径 2km 以上の沼沢湖カルデラがあり、その周囲に惣山、前山の溶岩ドーム、火砕流台地が分布する。沼沢の形成は約 11 万年前のプリニー式噴火に始まり、数万年間隔でプリニー式噴火とデイサイト溶岩ドームの形成を繰り返している(山元, 1995)。

地形図

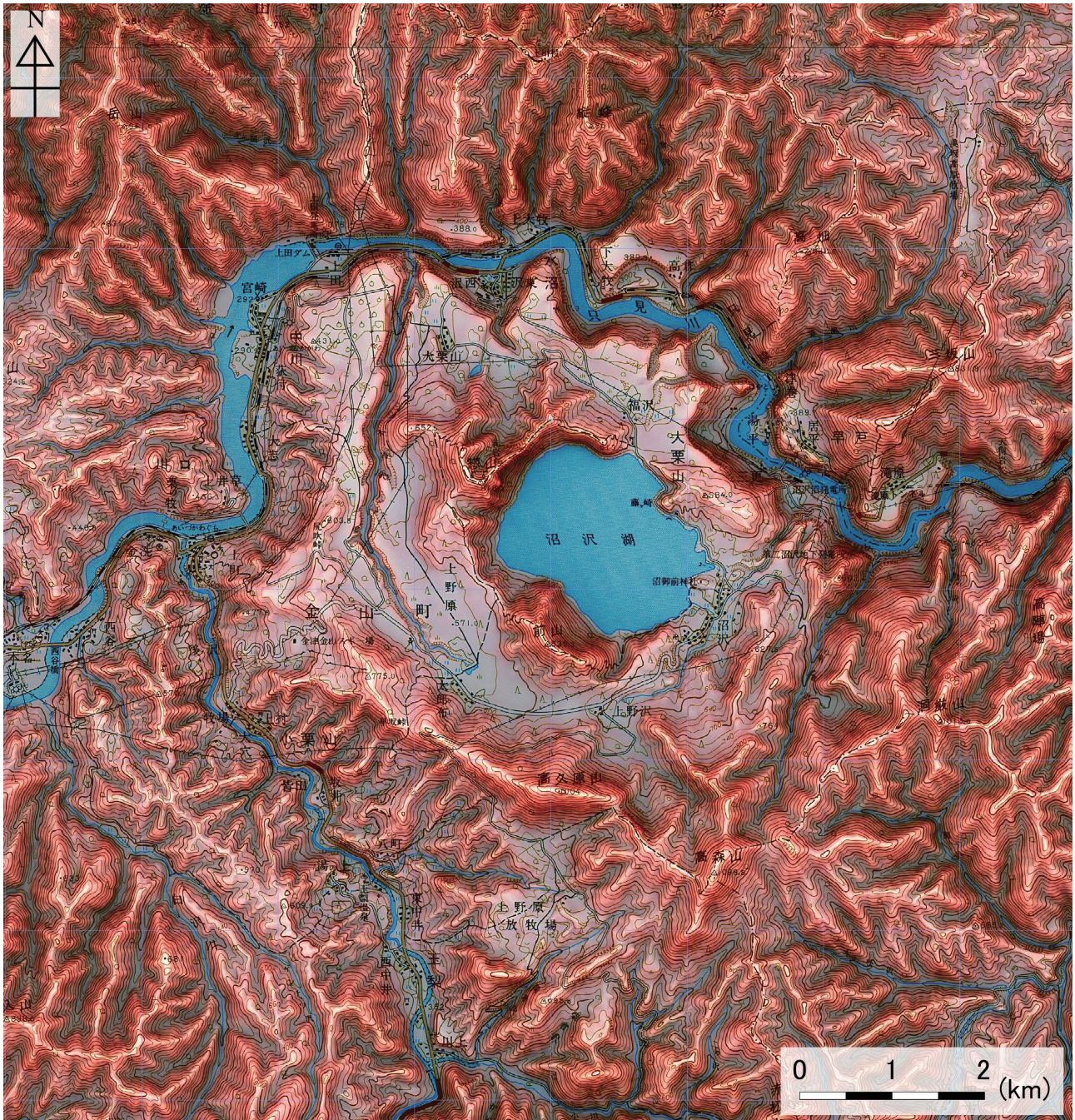


図 37-1 沼沢の地形図.

国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図 (宮下, 野沢) 及び数値地図 50m メッシュ (標高)

## 噴火活動史

### ・過去1万年間の噴火活動

約5000年前の噴火で、数 $\text{km}^3$ のデイサイト(一部安山岩)マグマを噴出し、沼沢湖カルデラを形成した。この噴火に伴う火砕流は、広い爆風被災域を持つ流動性の大きなもので、いくつかの地形的障害を乗り越えて20km以上流走し、会津盆地内に達している(山元, 1995)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
5.4ka <sup>2</sup>	沼沢湖 <sup>1,2,3</sup>	マグマ噴火・マグマ水蒸気噴 火→(泥流発生) <sup>1,2,3,5,6</sup>	沼沢湖火砕噴火：火砕流、火砕物降下、火砕サージ、泥流。

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0 kaとして示した。

#### 【引用文献】

1. 山元孝広 (1995) 沼沢火山における火砕流噴火の多様性：沼沢湖および水沼火砕堆積物の層序. 火山, **40**, 67-81.
2. 山元孝広 (2003) 東北日本, 沼沢火山の形成史: 噴出物層序, 噴出年代及びマグマ噴出量の再検討. 地質調査研究報告, **54**, 323-340.
3. 山元孝広・駒澤正夫 (2004) 宮下地域の地質, 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅). 産総研地質調査総合センター, 71p.
4. Yamamoto, T. (2007) A rhyolite to dacite sequence of volcanism directly from the heated lower crust: Late Pleistocene to Holocene Numazawa volcano, NE Japan. J. Volcanol. Geotherm. Res., **167**, 119-133.
5. 増淵佳子・石崎泰男 (2008) 沼沢火山のBC3400年カルデラ形成噴火(沼沢湖噴火)のマグマ溜り. 地球, 号外「カルデラ生成噴火-準備過程の理解に向けて-」, **60**, 176-186.
6. Ishizaki, Y., Masubuchi, Y. and Aono, Y. (2009) Two types of dacitic omices from the caldera-forming eruption of Numazawa Volcano, NE Japan. Jour. Mineral. Petrol. Sci., **104**, 356-373.

### ・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない

### 近年の火山活動

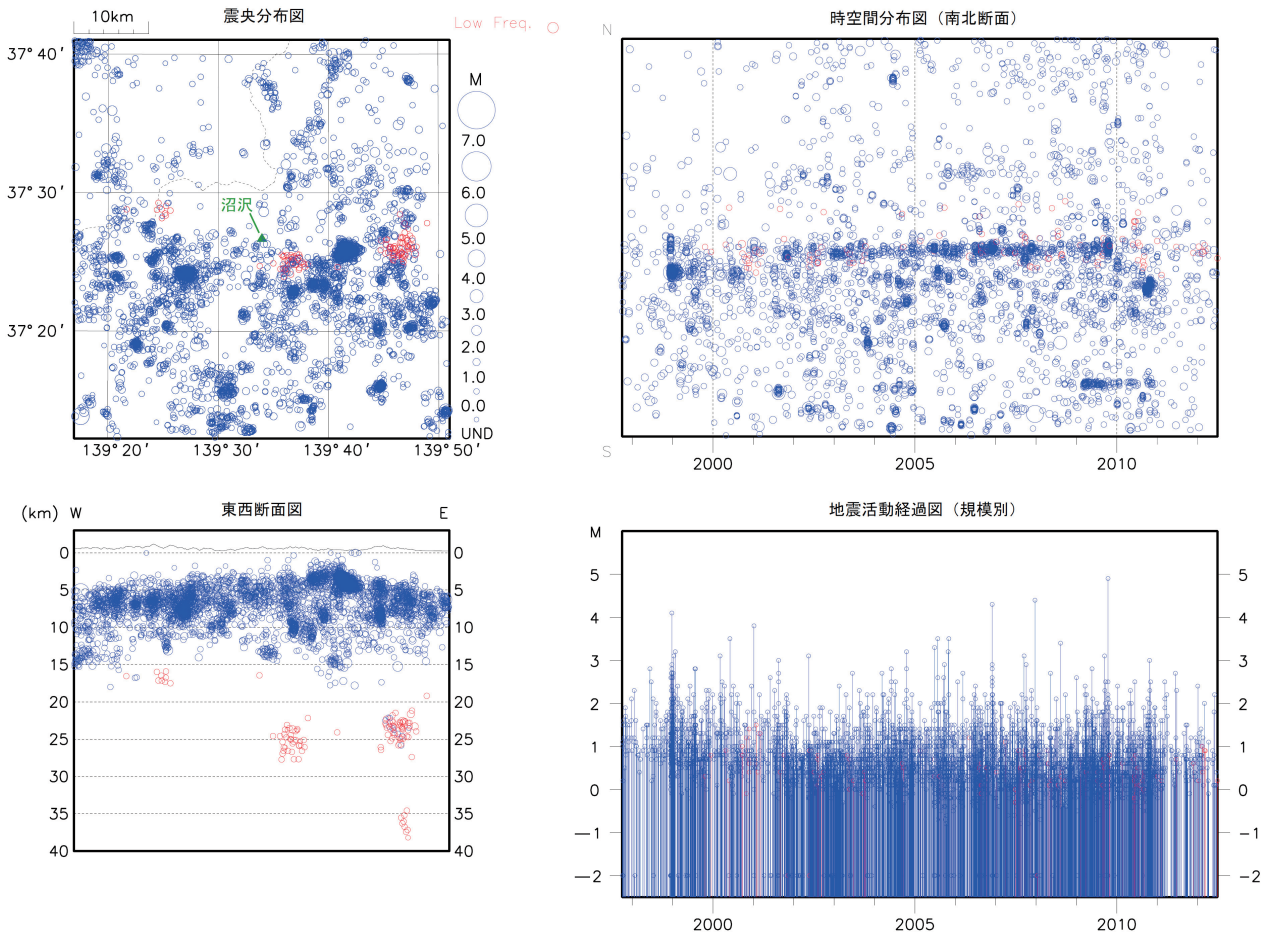


図 37-2 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)  
(1997年10月～2012年6月30日).

## 防災に関する情報

### ①火山防災協議会

なし

### ②主な火山情報の発表状況

(1965年1月1日の情報発表業務開始以降 2007年11月30日まで)

情報の発表はなし

### ③避難実績及び入山規制等の実績

いずれもなし

## 社会条件等

### ①人口

金山町：2,633人（2010年1月1日現在）

### ②国立・国定公園・登山者数等

国立・国定公園指定なし（只見柳津県立自然公園）

年間観光客数：73,920人（沼沢湖：福島県観光客入込状況（2010）より）

年間登山者数：不明

### ③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
金山町役場	福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393	0241-54-5111

### ④主要交通網

磐越自動車道、国道252号線

### ⑤関連施設

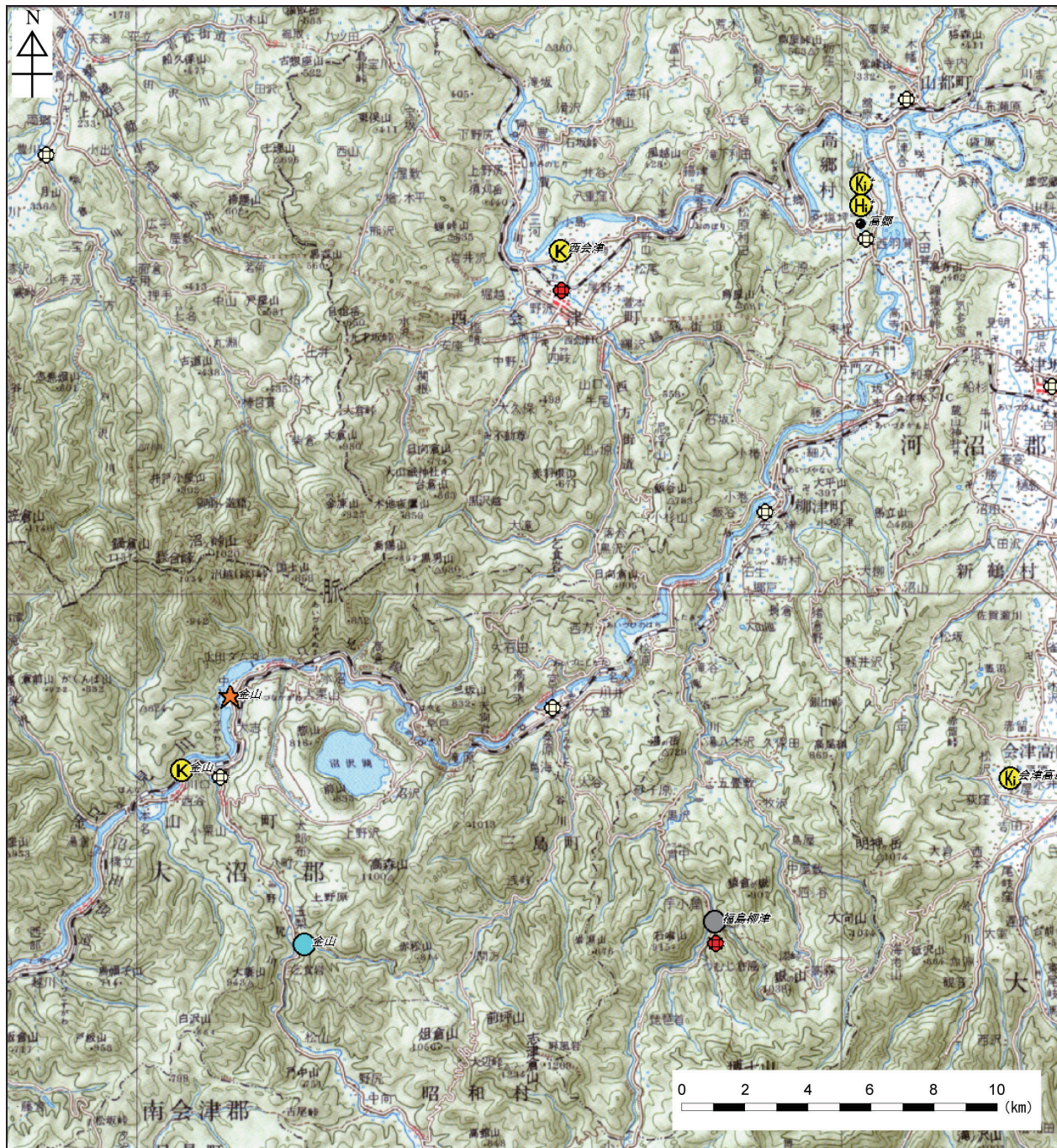
なし

## 関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
仙台火山監視・情報センター	(仙台管区気象台) 宮城県仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第3合同庁舎	022-297-8100
福島地方気象台	福島県福島市松木町 1-9	024-534-6724
東京火山監視・情報センター	(気象庁本庁) 東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
新潟地方気象台	新潟県新潟市中央区美咲町 1-2-1 新潟美咲合同 庁舎2号館	025-281-5871

### 気象庁および大学等関係機関の観測網

広域 ※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(新潟)

凡 例				
(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所)	(東北大学)	(自治体)
● 震度計	★ GPS	● Hi-net	● 地震計(短周期)	● 震度計
● 地震計(短周期) (地震津波観測)		● K-NET		
		● KiK-net		

図 37-3 観測点位置図(広域).

### 引用文献

山元孝広 (1995) 沼沢火山における火砕流噴火の多様性：沼沢湖および水沼火砕堆積物の層序. 火山, 40, 67-81.